

白河

広報

10

2014.10.1 No.107



■まちなかを練り歩く勇壮な神輿 (白河提灯まつり／9月13日)

地域全体の 将来を見据えて

市では、西白河郡および東白川郡の8町村と連携し、将来にわたって皆さんが安心して暮らせる魅力ある地域づくりを行うため、「しらかわ地域定住自立圏構想推進協議会」を設立しました。
今月号では、定住自立圏構想の概要をお知らせします。

定住自立圏構想

近年、急速な少子高齢化や大都市圏への人口流出などで、地方は経済力や活力を失いつつあります。このような状態が続けば近い将来、地方の各市町村は、暮らしに必要な行政サービスや都市機能を維持することが困難になると懸念されています。このため、市町村の枠組みを超えて連携し、地域全体の将来を見据えた施策を実施していくことが求められています。

8月29日、本市をはじめ、生活圏や経済圏をともしする西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村の9市町村長が集まり、「しらかわ地域定住自立圏構想推進協議会」(会長は鈴木市長)を設立しました。

「定住自立圏構想」は国の施策で、人口規模など一定の条件を満たす中心市と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能の確保と、地域圏への人口定住を



<施策の具体例>

- 医療 医療機関への支援等、地域医療を守る取り組みをさらに強化する。
- 公共交通 地域住民の日常生活を支えるバスの効果的なルート調査研究し利便性を向上させる。
- 観光振興 観光資源を組み合わせ付加価値を高めるとともに情報発信力を強化する。

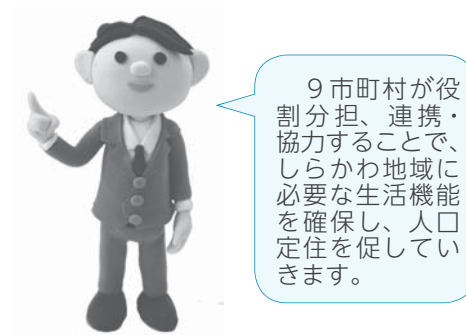
■中心市の条件

- 人口5万人以上
- 昼夜間人口比率が原則1以上
- 原則3大都市圏(東京、名古屋、大阪)外

推進協議会を設立



▲協議会の様子



9市町村が役割分担、連携・協力することで、しらかわ地域に必要な生活機能を確保し、人口を定住を促していきます。

「中心市宣言」で意思を表明

8月29日、協議会の設立後、鈴木市長が中心市宣言を行いました。県内では、南相馬市に次いで2例目となります。



▲中心市宣言を行う鈴木市長

中心市宣言とは

中心市の要件を満たす市が、地域全体における人口定住のため、近隣の市町村と連携しようとする場合に、地域として必要な機能の確保に関して中心的な役割を担う意思を明らかにするため、所定の事項を記載した書面を作成し公表することです。
中心市宣言は、定住自立圏形成協定の締結等を進めたいと考える中心市が、その意思を示す最初の機会となります。

今後必要となる手続き

定住自立圏形成協定の締結

本市が近隣の町村と、相互に役割分担しながら連携・協力していく内容を明示した「定住自立圏形成協定」を、それぞれの議会の議決を経た後、1対1で締結します。
本市と各町村の間で、1対1の協定締結を積み重ねる結果として、「しらかわ地域定住自立圏」が形成されます。

定住自立圏共生ビジョンの策定

協定を締結後、圏域の将来像やその実現に向け、具体的な事業を掲載した「定住自立圏共生ビジョン」を策定します。
策定にあたっては、「圏域共生ビジョン懇談会」を組織し、圏域住民の意見を反映させるよう努めます。



安心して暮らせる魅力ある地域づくりのため、定住自立圏構想を推進していきます。

中心市宣言(抜粋)

白河市は、圏域8町村と共にこれまで培ってきた連携・協力関係をさらに深め、各市町村が有する都市機能や地域資源を最大限活用し、「定住」の受け皿となる「しらかわ地域定住自立圏」を形成するために全力で取り組んでいくことをここに宣言します。

平成26年8月29日

白河市長 鈴木和夫



中心市宣言を行ったことで、定住自立圏形成に向けた一歩を踏み出しました。全国では96例目となります。



■白河技能フェスティバル (午前10時から午後3時まで)

卓越した職人の技をはじめ、ものづくりに携わる方の日ごろ培ってきた技能が披露されます。また、子どもたちが参加できるものづくり体験もあります。



《なおやマンワークショップ・ショー》

人気のワークショップエンターテイナー、なおやマン(島崎直也)によるサイエンスワークショップ・ショーを開催します。子ども向けの参加型ワークショップで、親子でも楽しめます。なおやマンの世界を体験しましょう。



同時開催!



■スナッグゴルフ体験会

遊び感覚でゴルフを体験でき、ゴルフ未経験者や子どもでも楽しめます。当日は、レッスンプロが指導します。
●日時 11月8日(土)午前11時～午後3時
●会場 JR白河駅前イベント広場
●参加料 無料

夜の部

Nighttime menu

大きなテントが一夜限りの特別レストランになります。ステージでの生演奏とそれに合わせた料理やお酒を提供します。至福のひとときをお楽しみください。

■特別レストラン

天井が高く、開放感のある空間で洋食を中心とした食事とお酒を提供します(テントの中は暖房管理されていますので、寒さの心配はありません)。

■ステージショー

アコースティックギターやピアノの演奏、そして澄んだ歌声。おいしい食事に合った音楽が楽しめます。

■紅葉のライトアップ

谷津田川せせらぎ通りの紅葉をライトアップします。そのほか200個の竹灯籠や創作灯籠が幻想的な雰囲気を作り出します。秋の風情をお楽しみください。



昨年の谷津田川せせらぎ通りライトアップの様子。

昼の部

Daytime menu

たくさんのおいしい食べ物のほか、参加型のイベントや華やかなステージショーで、子どもから大人まで楽しむことができます。

■世界一の Pasta を食す

「パスタワールドチャンピオンシップ」に出場し、見事優勝を果たした山田剛嗣さんのパスタを提供します。世界一のPastaを楽しむチャンスです。

■日本一長いクレープ作りに挑戦

目指すは50mのクレープ。皆さんの力を合わせて、日本一に挑戦しましょう。

■働く車大集合

働く車が大集合します。見て、触れて、体験もできます。

■キッチンカーの共演

たくさんの「キッチンカー」が集まります。どれも個性的な車ばかりで、見るだけでも楽しめます。スイーツピザや南米風餃子など、今まで見たことのないおいしい食べ物を提供します。

■ステージショー

白河スーパーキッズのダンスや看護学生のよさこい、パルーンアートなどで、ステージを華やかに彩ります。



ぜひ白河の皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

シェフ 山田剛嗣さん

2012年にイタリアで開催された「パスタワールドチャンピオンシップ」で、世界各地で活躍するイタリアンシェフ25人と技を競い合い、頂点を輝きました。



ドン・ミゲルのキッチンカー



大野農園のキッチンカー

食と紅葉を同時に!

「食と職の市」と「しらかわ紅葉まつり」が融合した新イベント「Decoraしらかわ2014」が開催されます。Decoraはデコレーションを意味していて、おしゃれに飾られた会場で、白河の伝統的な食べ物やおしゃれで洗練された食べ物など、様々な食が楽しめます。また、鮮やかに色付いた谷津田川沿いの紅葉も同時に楽しむことができます。今月号では、イベントの内容を紹介します。



●日時 11月8日(土)
▷昼の部
午前10時～午後3時
▷夜の部
午後3時～8時
●会場
市民会館駐車場
小峰通り
谷津田川せせらぎ通り
●入場料
無料

Decoraしらかわ実行委員会 (公財) 白河観光物産協会内 ☎0241-1147



参加者の活躍で無事まつりを遂行

宮本氏子総代 須永敏行さん

今年は、より良いまつりにしようと、参加者や観客の立場になって、先達提灯の総町渡河や2・3日目の出だしを総町整列による出発にするなど新たな試みを実施しました。3日間、天候に恵まれたこともあり、例年になく大勢の観客が訪れました。

また阿武隈川河畔のかがり火も前回同様実施され、川面に映る先達と神輿の提灯の光と一緒に雰囲気をもさらに盛り上げました。

各町の世界人や壮者会の活躍で、3日間、無事まつりを遂行することができました。



まつりの将来を見据えた活動

宮本壮者筆頭 水野谷和聖さん

まつりの進行は、壮者会の人たちが中心となって行っています。出発前には、全町の進行責任者が集まり注意点の確認を行うなど、全町が共通認識を持って臨んでいます。そのかいあって無事にまつりを終えることができました。

白河提灯まつりは、伝統を大切にしている部分もありますが、大人から子どもまで楽しめるまつりでもあります。このことを伝えようと昨年は白三小、今年は白一小・白二小・みさか小で出前講座を行いました。今後は、表郷・大信・東地域でも出前講座を行っていきたいと思っています。



- ① 幻想的な神輿の渡河
- ② 総町整列による初めての出発 (14日)
- ③ 拝殿の神事 (浦安の舞)
- ④ 神橋を渡る神社神輿
- ⑤ 町内を渡御する神社神輿
- ⑥ お囃子を奏でる子どもたち
- ⑦ 山車を引く子どもたち
- ⑧ まちなかを練り歩く神輿



◎特集 白河提灯まつり

白河が熱く燃えた3日間

9月12日から14日まで、白河提灯まつりが開催され、勇壮な行列と幻想的な提灯の明かりが、観客を魅了しました。

今月号では、3日間の熱い様子を写真やインタビューでお届けします。



歴史と伝統を現代に

白河提灯まつりは、徳川家綱時代・藩主本多能登守忠義が神輿を鹿嶋神社に寄進したことから始まり、武家社会の格式を取り入れた独特の儀式まつりです。約350年の歴史と伝統を現代に受け継いでいます。

初日は鹿嶋神社から御旅所(桜町)まで、2日目は一番町から九番町に総町(まつりに参加している23町)が整列して出発し御旅所まで、3日目は横町から向寺に総町が整列して出発し鹿嶋神社まで、約8,000個の提灯が織り成す幻想的な明かりが行列となつてまちを照らしました。

また、日中は、各町の山車や屋台を子どもたちが引いて練り歩いたほか、2・3日目に神社神輿の町内渡御も行われました。

初めての試み

昨年の10月から5回、総町の代表4人で検討会を行いました。観客に楽しんでもらうこと、そしてスムーズに進行

の決議機関である総町参会に提案し、決定され、今回のまつりで実施することになりました。観客からは、神輿の来る間隔が短くきれいで良かったなどの感想がありました。

多くの方にまつりをPR

前回同様、今年も初日から最終日まで3日間に渡り、まつりの模様がUst白河によりインターネットで生中継され、日本各地の方にご覧いただきました。視聴者からは、「転勤で白河を離れましたが、まつりの様子を見て故郷を思い出し、元気をもらいました」など多くのメッセージが届きました。

また、まつりをPRするため、本市の友好都市である三重県桑名市や埼玉県行田市をはじめ県内外の首長や議会関係者の皆さんを招待しました。鹿嶋神社での神事や勇壮な提灯行列を目の当たりにし、まつりのすばらしさを肌で感じ感動したとの声をいただきました。

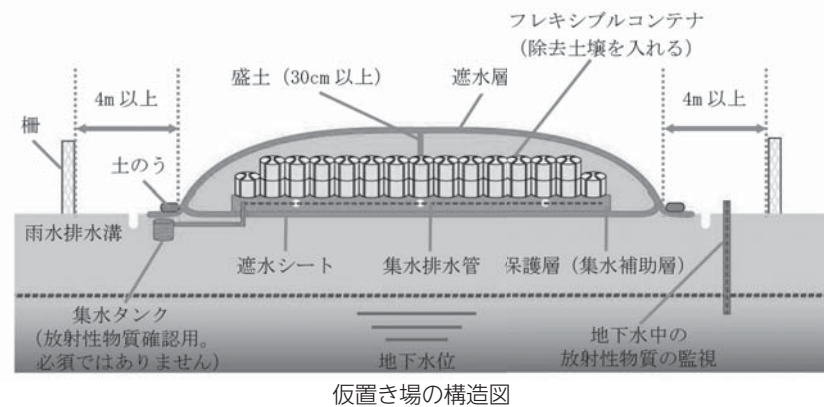
◎白河まつり振興会(公財) 白河観光物産協会内) ☎0247-147



除染をより迅速に

■仮置き場

仮置き場の管理運営業務は、専門の知識を持った業者に委託しています。搬入されるフレコンバックの規格や破損等の状況を確認するほか、環境省の「除染関係ガイドライン」に基づき適正に保管・管理を行っています。



仮置き場の構造図



除染関係ガイドライン

■住宅ホットスポット除染の除去土壌

市民の皆さんが居住する住宅の宅地内で、局所的に空間放射線量の高い場所の除染(ホットスポット除染)を実施しています。これまで、除去土壌等は宅地内での保管を条件に実施していましたが、白河地域仮置き場の受け入れ準備が整ったため、白河地域で今後実施する箇所から出る除去土壌等は仮置き場へ直接搬出します。

また、ホットスポット除染で現在も宅地内に保管されている除去土壌等は、10月から順次搬出していきます。搬出時期などは、今後、施工業者からお知らせします。

Information

住宅ホットスポット除染を希望する方

●対象要件

- ▷市内で現在居住している宅地であること。
- ▷1時間当たりの空間放射線量が、地表面から0.5mの高さで0.5マイクロシーベルト以上であり、1mの高さで0.23マイクロシーベルト以上の箇所であること。
- ▷居住している方と土地または建物の所有者が異なる場合は、それぞれの所有者の同意が得られること。
- ▷住宅除染を実施していないこと。

※局所的な除染であり、広範囲の面的除染は対象としていません。
 ※高圧洗浄等による除染、屋根、壁等の除染は実施していません。

●申込み手続き

- ▷受付時間 平日の午前9時から午後5時まで
- ▷受付方法 予約専用電話 (☎@0606) で受け付けます
- ▷受付場所 ホットスポット除染受付窓口 (本庁舎南側駐車場内食品検査室)

●申し込み・問い合わせ先

本庁舎放射線対策課 ☎@1111 内2187



市では、放射線量の早期低減を目指し、「白河市除染実施計画」の優先順位にそって、平成24年度から順次個人住宅除染に着手しています。

今月号では、今後の放射線量調査と除去土壌等の保管方法などをお知らせします。

■市内全域の放射線量調査を実施

今年度の放射線量調査は、当初、中山や真舟地区など、白河地域の一部完了(市内全世帯の約50%)を見込んでいましたが、市民の皆さんの放射線に対する不安の解消を図るため、来年度以降に予定していた次の地域・地区についても計画を繰り上げて、今年度から順次実施します。

地域・地区名	戸数
金屋町、愛宕町、中町、大工町、新蔵、南町、本町、丸の内、搦目山、馬町、蛇石、栄町、横町、田町、年貢町、寺小路、鍛冶町、桜町、旭町、中田・結城	5,131戸
大沼地区	1,051戸
関辺地区	627戸
五箇地区	475戸
表郷地域	1,754戸
東地域	1,648戸
合計	10,686戸

■除去土壌等の保管容器 (フレコンバック)

除染で発生した除去土壌等を保管するフレコンバックは、環境省と協議したものを使用しています。このフレコンバックは、環境省の「除染関係ガイドライン」(平成25年5月第2版)にも記載されている除去土壌等の保管容器として安全性の高いものです。

名称	フレキシブルコンテナ
規格	JIS規格Z1651ランニング1種適合
材質・コーティング材	EVAターポリン
特徴	耐久性、防水性に優れる
耐用年数	7年~10年



三重櫓等の修復に着手

文化財課（歴史民俗資料館） ☎2310

VOL. 17



小峰城石垣再生への歩み

本市のシンボル小峰城。東日本大震災で石垣が崩落し、現在、修復作業を進めています。「小峰城石垣再生への歩み」では、修復作業の様子や再生に向けた取り組みをお知らせします。

本丸南面の石垣積み直しも完成間近で、今後は天端石（石垣の一番上の石）の高さを合わせ、平らにする仕上げ作業や安全柵の設置を行います。さらに、現在は三重櫓・前御門の修復のほか、月見櫓台石垣・搦手門跡石垣・清水門跡石垣を修復するための、解体・発掘調査も行っています。崩落した石垣の背面や、今後崩落の危険性がある石垣を解体して修復するため、内部の状況を詳細に記録しながら調査しています。

※これまで毎月第1・3日曜日に行っていた本丸南面石垣の修復作業一般公開は終了しました。今後の一般公開は、工事の進捗よくにあわせ随時開催を予定していますので、決まり次第お知らせします。



修復中の三重櫓・前御門



発掘調査（搦手門跡石垣）の様子

高齢者のインフルエンザ予防接種

健康増進課（中央保健センター） ☎2112 / 各庁舎地域振興課 表郷 ☎2114 大信 ☎2114 東 ☎2116



インフルエンザにかからないために、また、かかっても重症化しないために、予防接種は大変有効です。インフルエンザはウイルスによって発症し、その症状は突然の高熱、関節痛などで、普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。重症化すると、体力のない高齢者などは生命に関わることがありますので、早めにかかりつけの医療機関で予防接種を受けることをお勧めします。

市では、次の対象者に接種費用の一部を助成します。なお、予防接種は本人が希望する場合のみ行うものです。

■対象

本市に住民登録がある方で、①または②に該当する方
 ①接種当日65歳以上
 ②接種当日60歳から64歳で「心臓、じん臓、呼吸器に機能障がいがある方」または「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障がいがある方」（どちらもその障がいの程度が身体障がい者手帳1級に相当する方）

■実施期間

10月15日(水)～12月20日(土)
 ※事前に医療機関に予約してください。

■料金

1,000円（1回目の接種のみ）
 ※下表の指定医療機関以外で接種する場合
 ▷県内 手続きは必要ありません。

▷県外

手続きが必要ですので、必ず接種する前にお問い合わせください。後日、市が2,500円を限度に助成します。なお、接種後に申し出た場合は、市の助成は受けられません。
 ※生活保護世帯の方は無料です。接種前に手続きが必要ですので、お問い合わせください。

■持参する物

健康保険証または後期高齢者医療被保険者証、健康手帳（お持ちの方のみ）、対象②に該当する方は身体障がい者手帳等

■予診票

医療機関に用意してある予診票をご利用ください。

■注意

妊婦、子ども、65歳未満の成人は任意接種となり、接種費用の助成はありません。

【インフルエンザ予防接種指定医療機関】

医療機関名	所在地	電話番号	医療機関名	所在地	電話番号	医療機関名	所在地	電話番号
ありがクリニック	北中川原	21311	白河病院	六反山	23700	わたなべ内科医院	新白河	21531
いがらし内科クリニック	老久保	21911	すずき内科クリニック	大	24114	会田病院	矢吹町本町	2121
宇都宮クリニック	北真舟	31570	鈴木ホームクリニック	南真舟	31811	おほりクリニック	矢吹町八幡町	2311
江藤医院	東深仁井田	3113	関医院	横町	33003	きたむら整形外科	矢吹町八幡町	2533
大高内科胃腸科	道場小路	2456	田口医院	郭内	24111	県立矢吹病院	矢吹町八幡	2311
おかざきクリニック	新白河	22551	千葉医院	外薄葉	24208	小針医院	矢吹町曙町	2366
岡崎小児科内科医院	結城	23781	つかはら内科クリニック	郭内	24101	すずきクリニック	矢吹町八幡町	43800
小崎内科医院	愛宕町	23765	円谷産婦人科医院	道場小路	23403	西白河病院	矢吹町井戸尻	2371
尾股整形外科医院	立石	27218	南湖こころのクリニック	関辺	23440	樋口小児クリニック	矢吹町大久保	22040
尾股耳鼻咽喉科医院	立石	23133	野村貫成堂クリニック	新白河	23071	松崎医院	矢吹町中町	22525
片倉医院産科婦人科	昭和町	23459	みうら小児クリニック	白坂	28100	渡部医院	矢吹町文京町	4411
片倉クリニック	立石	27270	緑が丘さくら診療所	東深仁井田	3555	福島県太陽の国病院	西郷村真船	2311
くにい増見クリニック	大信増見	462258	明溪醫院	明戸	27306	いわしなクリニック	西郷村米	481234
さかの整形外科クリニック	旭町	24511	よこむら整形外科クリニック	老久保	21455	かねこクリニック	西郷村下前田東	24311
佐藤循環器科内科クリニック	中山南	24231	吉田外科医院	年貢町	23403	ニューロクリニック	西郷村下前田東	2411
白河厚生総合病院	豊地	2221	らくらく医院	大信町屋	5333	泉崎南東北診療所	泉崎村山ヶ入	2415
白河市表郷クリニック	表郷金山	23216	渡辺医院	中町	23304	きくち診療所	中島村滑津	218672



歴史と伝統を活かしたまちづくり「れきしら広報白河編」！ vol. 1

■白河の歴史を見て・ふれて・感じる「れきしら」

白河に残る歴史や文化をもっと多くの人に知って・ふれてもらうため、平成25年3月に白河歴史の手引き「れきしら」入門編を発行しました。

「白河の歴史を見て・ふれて・感じる」をテーマに、市内を小峰城、城下町、南湖公園、歴史的街道エリアに分け、さらには、白河提灯まつり、白河だるま市、酒造業、民俗行事など、白河の歴史や伝統文化を、イラストや写真を織り交ぜながら紹介しています。

れきしらは、次の取扱窓口で販売しています。あなたも「白河通」になりませんか。

- 定価 800円
- 取扱窓口 (公財) 白河観光物産協会、二ノ丸茶屋、翠楽苑、白河関の森公園、市役所売店、白河戊辰見聞館

※郵送販売を希望の方は、(公財) 白河観光物産協会 (☎21147) までお問い合わせください。



本庁舎まちづくり推進課 ☎1111 内2747

※1 正式名称「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」
 ※2 正式名称「白河市歴史的風致維持向上計画」

**白河復興応援プロジェクト「白河六旗」
熱いエールで見る人に元気と勇気を**

9月6日、市民会館（手代町）で、東日本大震災や原発事故からの復興にエールを送る「白河復興応援プロジェクト 白河六旗」(東京六大学応援団連盟小暮美季委員長)が開催されました。

各大学の応援団が繰り広げる力強さと華やかさを合わせ持った応援合戦に、ホールを埋めつくした約1,400人の観衆はたくさんの元気と勇気をもらいました。

また、前日には、市内各中学校の3年生約700人が招待され、生で見る応援団の勇姿に感動していました。



▲エールを送る早稲田大学応援団の皆さん(前列右が小暮委員長)

**市町村対抗県軟式野球大会白河市チーム結団式
決意を新たに連覇を目指す**

8月29日、市役所で「第8回市町村対抗福島県軟式野球大会」に出場する白河市チームの結団式が行われました。昨年の大会では接戦を勝ち抜き、見事に初優勝を果たした白河市チーム。主将の穂積英一さんは「一昨年は準優勝で、昨年は優勝することができました。今年は連覇を目指し、初戦から全力で勝ちにいきます」と話しました。

大会は9月13日に開幕、栄光の金獅子旗と知事杯を懸け、県内全59市町村が熱戦を繰り広げます。



▲結団式の様子(前列左が主将の穂積さん)

**Street Corner Symphony 白河公演2014
「声」の楽器で観衆を魅了**

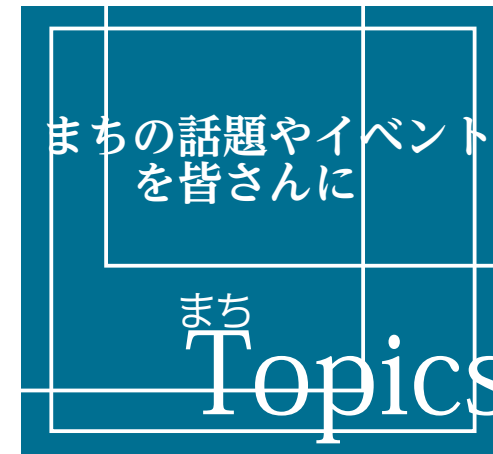
8月24日、市民会館（手代町）で、「早稲田大学 Street Corner Symphony アカペラ公演in白河2014」が開催されました。

「となりのトトロ」や「見上げてごらん夜の星を」などなじみのある曲がアカペラで披露され、約700人の観衆は声の楽器が奏でる演奏に魅了されていました。

また、前日には、市内の小・中学生を対象にした交流会が開かれ、参加した子どもたちは声の楽器にあわせ合唱するなど、楽しいひとときを過ごしました。



▲素晴らしいハーモニーで観衆を魅了



▲競技場をスタートするランナーたち

**第19回しらかわ駅伝競走大会
過去最多1,971人のランナーがまちなかを駆け抜ける**

9月21日、しらかわカタルズスポーツパーク陸上競技場（北中川原）をスタート・ゴールに、「第19回しらかわ駅伝競走大会」が開催されました。

過去最多の出場数となる195チーム、1,971人のランナーたちは、秋風の吹く中、沿道から多くの声援を受けながら健脚を競いました。競技の結果、高校の部男子は東北高校（宮城県）、女子は柏日体高校A（千葉県）が、一般の部男子は南陽市役所（山形県）、女子は郡山連合（福島県）が優勝しました。

また、競技にあわせ、まちなかでは「にぎわいイベント2014」や「しらかわ駅伝と歴史散策ツアー」が行われ、訪れた大勢の人は、駅伝観戦とともにイベントを楽しんでいました。



▲にぎわいイベントの様子

**院展 内閣総理大臣賞受賞記念 今井珠泉展
今井画伯の代表作を一堂に公開**

9月11日、集古苑（郭内）で「特別企画展 今井珠泉展」が開幕し、オープニングセレモニーが行われました。セレモニーでは、今井画伯が「年をとるにつれ物事が深く見えるようになりました。今後さらに精進します」とあいさつしました。続いて作品解説会が行われ、画伯が作品ごとの制作秘話を語ると、参加者たちは熱心に聞き入っていました。

なお、この特別企画展は、11月9日(日)まで開催されます。



▲受賞作「流水幻想」の制作秘話を語る今井画伯



月と灯ろうによる幻想的な雰囲気
十五夜月見会
9月12日～14日/翠楽苑(南湖公園内)



ティーボールで交流を深める
第68回全国レクリエーション大会2014福島 ティーボール全国交流大会
9月20日/表郷総合運動公園(表郷番沢)



プロ棋士による対局指導
第4回白河市囲碁・将棋まつり
9月23日/市産業プラザ人材育成センター(中田)



今後も適正な財政管理を
監査委員から各会計決算審査意見書提出
9月1日/市役所



元気良くスタート!
第13回しらかわ郷里マラソン大会
9月13日/東風の台運動公園(東釜子)



白熱した戦いが繰り広げられる
第31回西白河地方三村三自治区親善野球大会
9月14日/大信総合運動公園(大信上新城)



創造力あふれる優秀作に栄誉
第60回白河市発明展
9月16日/市立図書館りぶらん(道場小路)

施設の催し★

▶歴史民俗資料館(中田7-1/☎@2310)

- 【利用案内】
◆開館時間 午前9時～午後4時
◆休館日 毎週月曜日(10月13日(祝)は開館し、14日(火)は休館)
◆入館料 無料
【催し案内】
◇平常展示
「白河の歴史と文化」



ふくべんろくさくせんじんがもんのきまらむら
復弁六葉蓮華文軒丸瓦
(県指定文化財)

▶白河集古苑(郭内1-73/☎@5050)

【催し案内】

- ◇特別企画展
「再興第98回院展 内閣総理大臣賞
受賞記念 今井珠泉展」
●会期 11月9日(日)まで
◆開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
※金曜日は午後6時まで(入館は午後5時30分まで)
◆休館日 10月8日(水)・9日(木)
(展示替えのため)
※企画展会期中は月曜日も開館
◆入館料 大人320円(250円)/小中学生・高校生無料
※()は20人以上の団体料金



■(平成23年 再興第96回院展出品、作者蔵)

<関連イベント>

今井珠泉画伯によるギャラリートーク
10月13日(祝)/午後2時から
※申込不要(要入館券)

▶市民会館(手代町22-1/☎@3718)

- ◇第64回県南高等学校演劇コンクール
●日時 10月25日(土)・26日(日)/午前10時～午後4時45分
●入場料 無料
☎白河旭高校☎@2535

▶文化センター(中田140/☎@5220)

- ◇市民公開講座「がんの早期発見と高度・先進医療」
●日時 10月19日(日)/午後1時から
●入場料 無料
☎総合南東北病院☎0120-373-107
◇カラオケ発表交歓会
●日時 10月26日(日)/午前9時15分から
●入場料 2,000円
☎近藤歌謡教室☎@2175

▶東文化センター(東釜子字狐内47/☎@1131)

- ◇歌の交歓発表会
●日時 10月12日(日)/午前9時から
●入場料 1,000円
☎増谷☎090-6250-8905
◇東芸能発表会

- 日時 10月26日(日)/午前10時から
●入場料 無料
☎東教育振興課☎@3146
◇歌謡教室発表会
●日時 11月8日(土)/午前9時から
●入場料 1,000円
☎扇歌謡教室☎@2155

▶マイタウン白河(本町2/☎@7595)

- ◇高齢者作品展
●日時 10月12日(日)～14日(火)/午前9時～午後5時 ※最終日は午後3時まで
☎白河白寿会連合会☎@4126
◇第32回中央公民館習作展
●日時 10月30日(休)～11月3日(祝)/午前9時～午後6時 ※初日は午前10時から、最終日

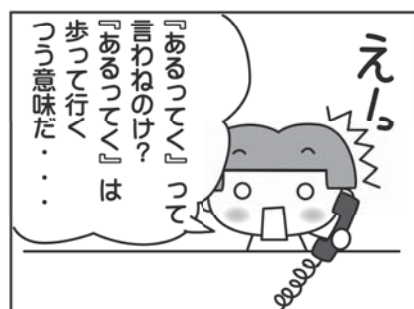
- は午後3時まで
☎中央公民館☎@3810
◇第11回ふるさと写真塾写真展
●日時 10月13日(祝)～18日(土)/午前9時30分～午後5時30分
※最終日は午後3時まで
☎ふるさと写真塾 小林☎@1885
◇写団しらかわ写真展
●日時 10月31日(金)～11月4日(火)/午前10時～午後6時 ※最終日は午後3時まで
☎写団しらかわ 早津☎@2681

▶翠楽苑(南湖公園内/☎@6888)

- ◇紅葉ライトアップ(無料)
●日時 10月27日(月)～11月2日(日)/日没～午後8時30分 ※11月1日(土)を除く

ほんこのこころ

作 本町かずこ
なまいだった



『あるってこ』が通じないのは解ってたけど
まさか『あるってく』が訛りだったとは...

■話題 Report

ビルの壁でカウントダウン!



9月5日から27日まで、JR白河駅前のNTT東日本白河ビルの壁を利用して、ダルライザーや小峰シロ、しらかわなどを映し、「ご当地キャラこども夢フェスタ in しらかわ 2014」のカウントダウンが行われました。

ちょっといいなし

優良道路愛護団体国土交通大臣感謝状を受賞



8月29日、住みよい五箇をつくる会の深谷総会長と齋藤隆司さんが、国土交通大臣感謝状の受賞報告に訪れました。長年にわたり、沿道に花を植えるボランティア活動が評価されたものです(中央が深谷会長、右が齋藤さん)。

チャリティーTシャツ販売で被災地を支援

若者の市民団体Xacx(永沢公規代表)と学生のデザイナー集団WIRED AXIS(田崎祥伍代表)が、ボランティアでチャリティー用Tシャツを100枚制作しました。売上げ金は、8月20日に広島県広島市で発生した土砂災害の義援金に充てられます。



善意の窓

歩道などの除雪に活用



8月29日、(株)佐久間組(佐久間哲男代表取締役)から、創業65年と会社設立55年を記念して、歩道や大型機械が進入できない場所などの除雪に効果が期待できる小型除雪機1台が寄贈されました(左が佐久間代表取締役)。

■イベント Report

秋はイベントが盛りだくさん

注目のイベントを紹介!

02

収穫祭・そばまつり

- 日時 10月25日(土)・26日(日)/午前10時~午後3時
 - 会場 関の森公園(旗宿)
 - 内容 手打ちそばや石窯焼きピザ等の販売、子どもが楽しめるステージイベント、ミニコンサートなど
- ☎白河旗宿まつり実行委員会((公財)白河観光物産協会内) ☎@1147



04

ふるさと白河表郷まつり

- 日時 11月2日(日)/午前10時~午後4時
 - 会場 表郷総合運動公園(表郷番沢)
 - 内容 ステージイベント、模擬店、お楽しみ抽選会など
- ☎同実行委員会事務局(表郷庁舎事業課内) ☎@4785



01

公設市場開放デー

- 日時 10月26日(日)/午前7時~午後2時
 - 会場 市公設地方卸売市場(五番町川原)
 - 内容 模擬セリ体験、マグロ解体ショー、サンマやみかんの詰め放題、クアマリンふくしま移動水族館など
- ☎市場祭り実行委員会事務局 ☎@4100



03

シロデ 城d'白河2014

- 日時 10月26日(日)/午前9時~午後1時30分
 - 会場 JR白河駅前道路
 - 内容 自転車のロードレース。競技部門、仮装部門、競輪選手によるデモンストレーションなど
- ※当日は、会場周辺の通行が規制されますのでご協力をお願いします。
☎白河商工会議所青年部事務局 ☎@3101



05

サンライズひがしフェスティバル2014

- 日時 11月3日(祝)/午前10時~午後3時30分
 - 会場 東風の台運動公園内(東釜子)
 - 内容 五合飯早食い大会、ステージイベント、日本一に挑戦シリーズなど
- ☎同実行委員会事務局(東庁舎事業課内) ☎@2115



ふくしまステーションキャンペーン 特別企画

Shirakawa Trip② しらかわとりっぷ

ふくしまDC県南推進協議会

バスで行く! 秋の県南地方を巡る旅



なんと!!
無料

来年の4月から6月にかけて開催される「ふくしまステーションキャンペーン」のPRイベントとして、県南地方を巡る無料モニターバスを運行します。魅力あふれる秋の県南地方巡りの旅にぜひご参加ください(昼食および施設の入場料は各自の負担になります)。

- 日時・集合場所
 - ▷Aコース 10月23日(木)/午前9時 (JR白河駅)
 - ▷Bコース 11月13日(木)/午前8時 (JR白河駅)
- 対象者 県南地方にお住まいの方
- 募集期間 Aコースは10月15日(水)から、Bコースは

- 応募方法 10月27日(月)から受け付け(平日の午前8時30分から午後5時まで) 電話により受け付けます。各コース定員40人になり次第、締め切りとなります。
 - 申し込み・問い合わせ先 本庁舎観光課 ☎@1111 内2211
- | | |
|------|---|
| Aコース | 棚倉城跡、道の駅はなわ、湯遊ランドはなわ(ダリア祭)、みりよく満点物語、山本不動尊 |
| Bコース | 道の駅はなわ、滝川溪谷(2時間程度の山登り)、矢祭山公園、みりよく満点物語 |



今月号は
「全国学力・学習状況調査」
 のお話です！
 ■教育関係のホットな情報を皆さんへ

きょうい
ホット情報
 熱!!

市ホームページ (http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/) で公表しています。
 ☎本庁舎学校教育課 ☎21111 内 2360

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果と考察

4月22日に小学6年生と中学3年生を対象に行った平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について、概要をお知らせします。この調査は学校での指導方法や家庭での学習状況などを改善するために実施しています。この調査から読み取れるのは、児童・生徒の学力の一部と学校の教育活動の一側面です。なお、詳細は市ホームページをご覧ください。

■公表の目的

小・中学校の現在の学力と、家庭学習や生活の現状を知っていただき、学校が保護者や地域と一体になって学力向上や学習環境の改善に向けて取り組むことを目的としています。

■教科に関する調査結果と考察

小学校では国語と算数、中学校では国語と数学、主に知識を問う「A問題」と知識を活用する力を問う「B問題」を実施しました。

《小学6年生の平均正答率》 (単位 %)

	国語A	国語B	算数A	算数B
白河市	74.7	59.2	81.4	61.4
福島県	73.3	57.0	78.7	57.8
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

今後特に力を入れていくこと

- 国語 ▷条件や字数制限に合わせて、理由や自分の考えをまとめて書くこと。
- 算数 ▷情報や条件を図の中に表したり、整理したりして筋道を立てて考えること。

《中学3年生の平均正答率》 (単位 %)

	国語A	国語B	数学A	数学B
白河市	81.2	54.4	68.8	60.4
福島県	79.4	50.5	64.7	56.8
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

今後特に力を入れていくこと

- 国語 ▷情報を正確に捉え、相手や目的に応じて説明する内容を適切に組み立てること。
- 数学 ▷方法や理由、根拠など自分で考えたことをノートにまとめ、文章に表現すること。
▷発表したり、友だちの考えを聞いたりすることを通して、自分の考えを深めること。

■質問紙調査結果と考察 (公表した6項目の1つ)

学習意欲や学習環境など状況把握のための調査です。

質問: 「普段 (月～金)、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか」

《小学6年生》 (単位 %)

	白河市	福島県	全国
2時間以上	6.3	5.8	11.2
1時間以上2時間未満	18.3	15.7	14.6
30分以上1時間未満	55.4	50.2	36.2
10分以上30分未満	16.9	21.6	25.2
10分未満	2.3	5.1	9.5
全くしない	0.8	1.5	3.2

《中学3年生》 (単位 %)

	白河市	福島県	全国
3時間以上	7.3	6.2	10.4
2時間以上3時間未満	33.4	25.1	24.7
1時間以上2時間未満	42.1	40.0	32.8
30分以上1時間未満	12.4	18.4	17.3
30分未満	3.6	7.0	9.0
全くしない	1.1	3.2	5.7

考察 ▷各学校では毎日宿題を出していますが、家庭での取り組みが十分ではない可能性があります。「家庭学習の手引」や「家庭学習カード」などを活用して学習内容の充実や習慣化に努めていますので、家庭での様子を見守ってほしいと思います。

りぶらんだより Libran



市立図書館りぶらんだ多目的ホールで上映される映画です。入場無料です。

- 大人向け 「鬼平外伝 夜兎の角右衛門」 ■日時 10月15日(水) 午後6時30分～8時
- 「氷雨」 ■日時 11月1日(土) 午後1時30分～3時
- 子ども向け 「ハローキティとオズの魔法の国」 ■日時 10月18日(日) 午後1時30分～2時20分



子どもたちが本を愛するように。

- ちびっこおはなしのくに ■日時 10月16日(水)、11月6日(水) 午前11時～11時30分
- おはなし会 ■日時 10月11日(土)・25日(土)、11月8日(日) 午前11時～11時30分
- 会場 おはなしの小屋 ■会場 おはなしの小屋
- 対象 0歳～3歳程度 ■対象 3歳～小学生程度



毎月、季節に合わせた本を展示しています。

- 大人の本 「秋をさがそう！」
- 子どもの本 「秋を見つけよう！」

秋といえば、○○の秋がありますが、皆さん何を思い浮かべますか。読書の秋、食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋。自分の秋を探してみてください。

◎市立図書館 りぶらん ☎3250
 ▶開館時間 平日10:00～20:00 土・日・祝日9:30～18:00
 ▶休館日 月曜日、第1水曜日 (ただし、祝日の場合は開館し、翌日は休館)

◎表郷図書館 ☎4784
 ▶開館時間 10:00～18:00
 ▶休館日 祝日、火曜日、第1水曜日
 Event 《おはなし、よんで! (0歳～小学校低学年対象)》 ■日時 毎週土曜日/随時

◎大信図書館 ▶開館時間 10:00～18:00 ☎3614 ▶休館日 月曜日、祝日の翌日
 Event 《絵で見るお話の会》 ■日時 10月5日(日)/午前11時～正午 ※11月はお休みです。

◎東図書館 ▶開館時間 10:00～18:00 ☎1130 ▶休館日 祝日、火曜日、月末日
 Event 《図書館であそぼう! (0歳～6歳対象)》 ■日にち 毎日 ※視聴覚室使用日を除く

Information

図書館からお知らせ

パパ'S絵本プロジェクトによるおはなし会
 絵本の読み聞かせと音楽が融合したライブを全国で展開している、パパ'S絵本プロジェクトによるおはなし会を開催します。歌ったり、体を動かしたりしながら楽しむおはなし会です。



- 日時 11月3日(祝)/午前10時30分から
- 会場 地域交流会議室
- 講師 パパ'S絵本プロジェクト 田中尚人氏、西村直人氏
- 入場料 無料 ※申し込みは不要です。

くらしの 情報館

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎②1111/Fax⑦2577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎③2111/Fax②2234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎④2111/Fax④2409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎③42111/Fax③43584

募集

第4回白河まちなか逸品めぐりツアー

各店のこだわり・お勧めの逸品を歩いて巡るツアーです。
●日時 10月18日(土)／午前11時～午後2時30分
●定員 16人 ※先着順
●参加料 1、000円(昼食代込み)
●申込期限 10月16日(木)まで
※コースは当日発表します。
●申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎③3101

樹木せん定講習会

●日時 11月5日(水)・12日(水)／午前9時30分～午後3時
●会場 市立図書館りばらん地域交流会議室(道場小路)および城山公園(郭内)
●内容 初歩的な松・梅などのせん定方法等の講義と実習
●定員 30人 ※先着順
●受講料 無料
●申込期限 10月22日(水)まで
●本庁舎観光課 内2213

市職員採用試験(追加募集)

〔平成27年度採用〕
《大学卒程度》
●職種・採用予定人員 土木2人程度
●資格 昭和50年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた方で、今年度すでに実施した本市職員採用試験を受験していない方(学歴不問)
●試験日 11月23日(日)
●試験会場 市役所本庁舎
●申込受付期限 10月31日(金)まで(当日消印有効)
※受験案内および申込用紙は、本庁舎総務課、各庁舎地域振

市有地公売

市が所有する土地を一般競争入札により売却します。
《物件①》▷所在地 昭和町69-28
▷地目 宅地 ▷面積 231.41㎡
▷最低入札価格 6,500千円 ▷入札日時 11月7日(金)／午前10時
《物件②》▷所在地 古高山4-28
▷地目 宅地 ▷面積 210.39㎡
▷最低入札価格 3,505千円 ▷入札日時 11月7日(金)／午前10時30分
●申込期間 10月1日(水)～31日(金) ※平日のみ
●要項の配布 本庁舎財政課(3階)で配布します。
●申込方法 市指定申込書および必要書類を本庁舎財政課へ持参、または郵送してください。郵送の場合は、簡易書留で送付してください(10月31日(金)までの消印有効)。
※詳しくは、市ホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。
●本庁舎財政課 内2335

県立矢吹病院看護師

〔平成27年度採用〕
●募集人員 若干名
●資格 昭和50年4月2日以降に生まれた方で、看護師免許を有するか取得見込みの方
●試験日 11月8日(土)・9日(日)
●試験会場 杉妻会館(福島市杉妻町)
●申込期限 10月31日(金)まで(当日必着)
※受験案内など、詳しくはお問い合わせください。
●申し込み・問い合わせ先 同病院 ☎④3111

ぐるり白河文化遺産めぐり・しらかわ歴史景観ウォーク

ぐるり白河文化遺産めぐりツアーとしらかわ歴史景観ウォークを共同開催するほか、スタンプリーも行います。
《ツアー》
●日時 11月8日(土)／午前9時～午後0時30分
●定員 ▼ぐるり白河文化遺産めぐり 40人 ▼しらかわ歴史景観ウォーク 20人
※要予約(先着順)
●参加料 500円
《スタンプリー》
●日時 11月8日(土)・16日(日)／午前10時～午後3時
●内容 すべてのスタンプを集めた方に賞品をプレゼント(先着100人)
●申し込み・問い合わせ先 本庁舎まちづくり推進課 内2743

行政相談週間

10月20日から26日までは、「行政相談週間」です。
行政相談委員は、総務大臣から委嘱され、行政機関や特殊法人などの仕事に関して、苦情や困りごと・要望などの相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。
相談週間中には、「特設行政相談所」を開設します。相談は無料で、秘密は厳守します。
●日時 10月23日(木)／午後1時～3時
●会場 本庁舎地下第1会議室

県文化振興財団助成事業

県では、文化活動支援を目的に、12月1日から平成27年3月31日までにを行う対象事業を助成します。詳しくはお問い合わせください。
●対象事業 県内に住所または活動の本拠を有する個人・団体の行う文化活動(成果発表事業、発表会等への参加事業、文化財の保護事業など)
●申込期限 10月31日(金)まで
●本庁舎文化振興課 内2384

甲種防火管理新規講習

●資格 防火管理上必要な業務を適切に遂行することができる管理監督的地位にある方またはその地位に就く見込みの方
●日時 12月4日(木)・5日(金)／午前9時50分～午後4時50分 ※5日は午後4時まで
●会場 サンフレッシュ白河(久田野)
●定員 80人 ※先着順
●教材費 5、000円
●申込期間 10月27日(月)～11月14日(金)
●申込先 白河地方広域市町村圏消防本部、各消防署・分署
●同消防本部 ☎②2170

案内

消防サイレン吹鳴

市消防団秋季検閲のため、

第60回記念「白河総合美術展覧会」

一般作品の展示のほか、60回を記念して作品研修会を行います。
●日時 10月22日(水)～26日(日)

宿25 ☎④2547
▽水野谷正明(東栃本字市倉22) ☎③3235
※自宅等でも相談に応じます。
●本庁舎総務課 内2313
／各庁舎地域振興課 表郷 ☎③2111 大信 ☎④2111 1 東 ☎③42111

案内

建設工事等入札参加資格審査申請

平成27・28年度の建設工事・測量等の入札参加資格審査申請を受け付けます。社会保障未加入業者の申請は、受け付けできない場合がありますので、お問い合わせください。

●期間 11月4日(火)～28日(金)

- 申請用紙 市ホームページから取得してください。
- 提出方法 必要事項を記入のうえ、指定の色のA4サイズの紙ファイルにのせて、本庁舎工事契約検査課(2階)に提出してください。
- 審査 水道事業に係る建設工事等入札参加資格審査申請は、工事契約検査課で受け付けます。
- 製造の入札参加資格審査申請は受け付けていません。建設資材は、物品購入等指名競

県民手帳・県勢要覧予約受付中

- 県民手帳(横野版・カレンダー版) 各500円
- 県勢要覧 1,500円
- 申込期限 10月20日(月)まで
- 申込先 本庁舎企画政策課
- 本庁舎企画政策課 内23
- 本庁舎工事契約検査課 内2252

違反建築防止週間

10月15日から21日までは、「違反建築防止週間」です。県では、違反建築物の予防や解消を目的に公開建築パトロールや啓発活動などを実施します。

建築物は、個々の資産であるとともに、まちの環境や景観を形成する重要なものです。良好な環境と安全性を確保するため、違反建築の防止に皆さんのご協力をお願いします。

●県南建設事務所 ☎163

まちかど伝言板

中心市街地活性化事業 ミニコンサート

- 日時 10月26日(日)午後4時～5時
- 会場 えきかふえSHIRAKAWA特設ステージ(郭内)
- 入場料 無料
- 福島県ミニコンサート実行委員会 遠藤 ☎090-114

立教志塾講演会

- 日時 10月23日(木)午後7時～8時30分
- 会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)
- 内容 ▼講演「日本の進路と誇りある国づくり」▼講師 ジャーナリスト 櫻井よしこ氏
- 入場料 1,000円(一般)
- (公財)立教志塾 ☎1427

福島県知事選挙のお知らせ

- 投票日 10月26日(日)
- 投票時間 午前7時～午後6時
- 投票所 投票所は、郵送される投票所入場券に記載されています。投票日または期日前の投票には、投票所入場券を持参してください。※入場券をなくしたり、忘れても投票できます。

《期日前投票》
投票日に仕事や旅行などで投票できない方は、期日前投票ができます。手続きは、宣誓書に事由、氏名、住所などを記載します。印鑑は必要ありません。

- 期間 10月10日(金)～25日(土)
- 場所・時間
▷市役所本庁舎 午前8時30分～午後8時
▷市役所表郷庁舎 午前8時30分～午後7時
▷大信農村環境改善センター 午前8時30分～午後7時
▷市役所東庁舎 午前8時30分～午後7時
※いずれの期日前投票所でも投票することができます。

《滞在地や避難先での不在者投票》
仕事や旅行、または震災による避難などで市外に滞在・避難されている方は、滞在地や避難先の市区町村選挙管理委員会で投票ができます。手続き方法などは、市選挙管理委員会にお問い合わせください。

《指定病院などでの不在者投票》
県選挙管理委員会が指定する病院や老人ホームなどに入院、入所している方は、その病院などで不在者投票ができます。詳しくは病院などにお問い合わせください。

《郵便等による不在者投票》
身体障害者手帳や介護保険被保険者証(要介護5)の交付を受けている方で、公職選挙法の要件に該当する場合、自宅郵便等による不在者投票ができます。手続き方法などは、市選挙管理委員会にお問い合わせください。

- 開票 中央体育館で、10月26日(日)午後8時から開始します。開票状況は、市ホームページでお知らせします。
- 選挙公報 選挙公報を10月24日(金)までに、各世帯に配布します。選挙公報が届かない場合は、市選挙管理委員会までご連絡いただくか、県選挙管理委員会のホームページをご覧ください。
- 県選挙管理委員会ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/62010a/tiji.html>
- 市選挙管理委員会 内2510



『田園への回帰』

白河市長 鈴木 和夫

急速に人口減少化の議論が熱を帯びてきた。国は国土のデザインとして、自治体は地域の将来を向け、本格的な対応を始めた。きっかけは、5月に増田元岩手県知事や官僚OBら、日本創成会議の発表した論文。全国の人口減少を予測し、これを食い止めるため、少子化対策や地域振興策、女性・高齢者の活用策を提言している。

特に衝撃を与えたのが、30年後に日本の約半数にあたる896市町村で、20～39歳の女性が50%以上減少し消滅の可能性があること。うち523市町村が、人口も1万人以下となり消滅するとされたことだ。新聞・雑誌で大きく取り上げ地方議会でも活発な論戦が交わされた。政府も「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、地方創生担当大臣を置くなど素早い反応をみせた。避難者を抱える福島県は対象に含まれていないが、この分類に入る市町村は少なくないと思われる。

「消滅」と名指しされた自治体の反応は複雑。地域の維持に懸命な我々に、冷水を浴びせるものでしからん。やっぱりだめなのかと肩を落とす。お偉方が机上の理屈を言っている、冷静にみていこう。「増田レポート」は政府・自治体に警鐘を鳴らし、いずれ来る危機が目の前に迫ってきたことを、シヨッキングな形で国民に示した点で大きな効果があった。

レポートは、人口減少は若者の大都会への流出が最大要因であり、この流れを変え地方に呼び戻すことが必要。この受け皿として、地方拠点都市に投資と施策を集中させるべきという。連動するように、国でも人口20万人以上の都市を「地方中枢拠点都市」と指定し、その圏域の生活・産業・文化の中心となるよう、補助金や交付税で手厚く支援する政策を打ち出した。日本列島を「選択と集中」により再編成するように見受けられる。

日本は、誰でもどこにいても一定の社会的利益を受けられる「国土の均衡ある発展」を軸としてきた。道路や新幹線を整備する、公共事業をおこす、工場を誘致する、米価を保障する。過疎地の底上げを図り、地域間格差の縮小を図る。的を射た政策だと評価している。だが、ここに至るまで、政策を転換したようにみえる。誤解を恐れずに言えば、「小さい自治体や農山村の面倒はみきれない」と聞こえる。

全国で3万人未満の自治体は人口の8%にすぎないが、国土の48%を占めている。農山村が疲弊して、中心の都市が栄えるのか。都市が周辺の生活や経済を支えると同様に、農山村も都市を支えている。農山村への投資は効率が悪い。ならば、効果のあるところに集約するのはやむを得ない。そう判断しているとすれば、木を見て森を見ない近視眼的思考だ。

広い東北・北海道で20万都市は数えるほどしかない。本県の場合も福島・郡山・いわきの3市。会津地方は、県の面積の半分近く占めるが人口は約28万人。白河地方は約15万人、相馬地方は約11万人。これ

らは、自立できないからいずれかの都市の傘下に入れということか。非現実的な議論に思えて仕方がない。

私たちはどういう視点で地域をつくるかを考え直す時期にある。かつての経済成長は安定した社会をもたらした。国はせつせと税を地方へ仕送りする。安い土地・賃金を求め工場がやってくる。国土の均衡ある発展とは、外部の力を取り込むことでもあった。内にあるものを手間暇かけて磨くことよりも、てっとりばやく外から運ぶ。いつしか外発的手法に慣れ過ぎ、変化に対する適応性をなくした。

時代は変わった。財政は火の車、企業の海外移転、超高齢化…。国はもはや地方を庇護する力はない。地方は、中小企業や農林業の振興、再生エネルギーの導入により、地域で富を産み地域で循環させる。内発的手法を中心に据え、これに外の力を組み合わせることを求められる。大震災は大きな試練だったが、過去を検証し、新しい道をつけていくまたとない機会でもある。「窮すれば通ず」。知恵は生まれる。

人は変えるのをためらう。危機が迫っていてもすぐには腰をあげられない。しかし、確実に新しい時代の風が吹き始まっている。日本各地で、都会から移住し農林業に就く若者や、高収入を捨てて子育てをしている家族が増しているという。彼らは生活の中から仕事を産み出し、仕事を通して生活の質を高めていく。新たな生き方を求め、田園への回帰が始まろうとしている。人口の予測は当たったことがないそう。恐れ過ぎることはない。

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。

リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
企業のちから

No.30 The company in Shirakawa

(株) Y S K 福島営業所・工場

住所：大信下新城字東区2-9
事業内容：精密シャフト、産業機械部品の製造・販売

すべてに“真剣勝負”で取り組み
顧客を第一に精度の高い商品を提供



- 産業機械などに使用されている製品。大学と共同で製品開発も行っています。
- 工場外観。毎週月曜日に工場内外の清掃をしています。
- 従業員の皆さん。礼節を大切に、来客者には必ず目を見てあいさつをしています。
- 福島工場では、自社工場内で唯一最大5mのシャフトを製造しています。
- 蓄積された経験を基に、研磨をする様子。
- 「自社工場内で一番の工場を目指したい」と話す福島さん。

「私たちの会社は、主に産業機械や印刷機器などに使用される精密シャフトを、旋盤から研磨まで国内では珍しい一貫工程で製造しています」と話す製造課マネージャーの福島直樹さん。

YSKは、昭和41年に個人事業として大府八尾市で創業し、西日本を中心に事業を展開。独自の技術と顧客の満足度を追求した結果、東日本方面からの受注が増え始めたため、様々な交通の利便性の良さから、平成20年に福島営業所・工場を建設しました。

敷地面積は12,460㎡で社員は29人。そのうち20人が地元の人で構成されています。技術を必要とする作業が多いことから、指導者が新人とペアを組み、熟練した技術とノウハウの継承に努めています。また、年に一度自分で設計製造した“こま”の回る時間を競うK-1グランプリを開催しています。さらに、様々なニーズに応えるために、品質管理や顧客の満足度の向上、環境への配慮を心掛け、平成20年にはISO9001、平成24年にはISO14001を取得しています。

「お客様を第一に精度の高い商品の提供を心掛け、国内外へのシェアの拡大を目指していきます」と福島さんは力強く話してくれました。

ふくしま destinations キャンペーン

ツーリズムガイド白河 推薦スポット⑤

しらかわの贈り物

解説

国によって整備された官道である東山道に位置しています。野火により焼失した後も、次々と新しい芽を出し、花を咲かせています。

庄司戻しの桜と伊達政宗

1180年、奥州平泉にいた源義経が兄頼朝の平家追討を聞き駆け付けます。大鳥城主佐藤元治（飯坂庄司）は義経に従う息子、継信・忠信を旗宿まで見送り、桜の杖を大地に突き立て義経への忠義を説きました。この杖が討ち死にした兄弟の忠義を感じ桜の大樹になったと言われています。

1189年、頼朝の奥州攻めで常陸国中村一族が奥州軍の元治を打ち破り、福島県北部の伊達を拝領、氏を伊達と称しました。1603年、仙台に青葉城を築いたのは17代伊達政宗です。



ツーリズムガイド白河会員
鈴木邦彰さん Suzuki kuniaki

ツーリズムガイド白河では会員を募集しています。 ☎ (公財) 白河観光物産協会 ☎@1147

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、まつり2日目の夜に行われた提灯行列の様子です。各町内がそれぞれに工夫を凝らした提灯の妙技や神輿の練りを披露し、観客はその勇壮な姿や幻想的な提灯の明かりに魅了されていました(写真は中町交差点)。